第 20 講
商業の復活・神聖ローマ帝国史

【商業の復活と都市の形成】十字軍の影響で教皇権は失墜（しっつい），諸侯・騎士が没落し王権が伸長した。

遠隔地商業が盛んになり貨幣経済が進行し荘園制が崩壊する方向に向かう。「(1)〔　　〕＝(2)〔　　〕」もベルギーの歴史家**ピレンヌ**の言葉だ。すでに 9 世紀頃から耕地を 3 分し春耕地・秋耕地・休耕地とし 3 年で一巡（いちじゅん）させる (3)〔　　〕が発達，(4)〔　　〕の普及で農業生産性が向上していた。**11 世紀以降**修道院を中心に森林・荒野の開拓も進んだ。11 ～ 13 世紀のヨーロッパは気候も温暖だった。余剰生産物の局地的交換つまり (5)〔　　〕が発生していた。このタイミングで (6)〔　　〕世紀に「商業が復活」した。次第に封建領主から特許状により自治権を獲得する（(7)〔　　〕）がおこる。**12 世紀以降**北イタリアで領主から自治権を獲得した自治都市・都市共和国を (8)〔　　〕という。**14 世紀以降**ドイツで発達し皇帝に直属し自治権が与えられ諸侯（しょこう）と同じ地位を与えられたのが (9)〔　　〕（自由都市）だ。その都市に一定期間（通常一年と一日）逃げ込んだ農奴が自由になることを「(10)〔　　〕」といった。**都市ではギルド（同業組合）が結成され自由競争を禁止して製造方法・品質・価格などを排他的に取り決めた。**大商人を中心に結成し手工業者も参加し市政を運営したのが **11 世紀の** (11)〔　　〕。それに対抗し **13 世紀**に手工業者が結成したのが (12)〔　　〕（ツンフト）で親方・職人，徒弟（とてい）という厳格な規約をもった。ツンフトが商人ギルドに挑んだ対決を (13)〔　　〕という。その結果ツンフトも市政に参加することになった。

【ハンザ同盟】北ドイツの諸都市を中心に (14)〔　　〕年に結ばれたハンザ同盟は，(15)〔　　〕を盟主とし，13 世紀後半から発展した。(16)〔　　〕や (17)〔　　〕も中心となり，さらに海外の (18)〔　　〕を外地 4 大商館として，北海・バルト海を中心に海産物（**にしん**等）・穀物・木材・毛織物など**生活必需品の交易**を行った。

東地中海地域でヴェネツィアなどの北イタリア諸都市の商人を中心として，銀や毛織物などを輸出し，アジア産の香辛料や絹などの**奢侈品（しゃしひん）を輸入した東方貿易と対照的**だ。14 世紀に**デンマーク**の南進を阻止し繁栄の最盛期を迎えたハンザ同盟も，大航海時代になると**大西洋沿岸の繁栄，オランダ商人やイギリス商人の進出**で次第に衰えた。さらにドイツの諸領邦君主による領邦内諸都市への圧迫，イギリスやロシアの重商主義政策による商館の閉鎖，また加盟都市内部での商人と手工業者との対立などで 17 世紀初めにはほぼ活動を停止した。

解答

（1）商業の復活　（2）商業ルネサンス　（3）三圃制（さんぽせい）　（4）重量有輪犂（ゆうりんすき）
（5）定期市　（6）12　（7）コミューン運動　（8）コムーネ　（9）帝国都市
（10）都市の空気は自由にする　（11）商人ギルド　（12）同職ギルド
（13）ツンフト闘争　（14）1241　（15）リューベック　（16）ハンブルク
（17）ブレーメン　（18）ロンドン・ブリュージュ・ベルゲン・ノブゴロド

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【修道院】

5 世紀にエジプトではじまった隠遁・禁欲・苦行・瞑想の場が修道院だ。(19)〔　　〕修道院は (20)〔　　〕年にイタリアの (21)〔　　〕にベネディクトゥスが創立し西欧の全修道院を統括した。「清貧・純血・服従」という厳しい戒律で「(22)〔　　〕」がモットー。(23)〔　　〕年にフランス中東部につくられたベネディクト派の (24)〔　　〕は 11 世紀以降の (25)〔　　〕の中心。(26)〔　　〕は 1098 年にフランス中部シトーに創設され開墾運動に従事した。13 世紀，修道院の封建領主化・富裕化を批判し個人財産を持たず信者からの托鉢にたより説教を都市で説教したのが新しいタイプの修道院が (27)〔　　〕。その典型が 1209 年に信仰に目覚めて財産を放棄したイタリア・(28)〔　　〕の聖者 (29)〔　　〕が創立した**フランチェスコ修道会**。モンゴル帝国に派遣された (30)〔　　〕はフランチェスコ派。スペイン出身の (31)〔　　〕が南フランスのカタリ派に対抗して説教活動をして後に創設した (32)〔　　〕年創設のドミニコ修道会も同タイプで異端撲滅に成果をあげた。**トマス＝アクィナスはドミニコ会出身。**

解答

(19) ベネディクトゥス派　(20) 529　(21) モンテ＝カシノ　(22) 祈り，かつ働け
(23) 910　(24) クリュニー修道院　(25) 教会刷新運動　(26) シトー修道会
(27) 托鉢修道会　(28) アッシジ　(29) フランチェスコ　(30) モンテ＝コルヴィノ
(31) ドミニコ　(32) 1215

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 20 講　テスト①

1　キリスト教三大聖地に入らないのは。

①　イェルサレム

②　ローマ

③　ミラノ

④　サンチャゴ＝デ＝コンポステラ

2　十字軍要請のきっかけとなった 1071 年の戦いの場所は。

①　ワールシュタット

②　マンジケルト

③　ニハーヴァンド

④　タンネンベルク

3　第１回十字軍派遣を決めた教皇は。

①　インノケンティウス３世

②　ボニファティウス８世

③　ウルバヌス２世

④　ハインリヒ５世

4　「商業の復活（商業ルネサンス）」は誰の造語か。

①　ランケ

②　トインビー

③　ピレンヌ

④　ブルクハルト

5　ハンザ同盟の盟主は。

①　ハンブルク

②　ブレーメン

③　リューベック

④　フランクフルト

6　ハンザ同盟の外地４大商館が置かれた都市でないものは。

①　ロンドン

②　パリ

③　ブリュージュ

④　ベルゲン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　529 年にイタリアのモンテ＝カシノに修道院をつくったのは。

①　ベネディクトゥス

②　フランチェスコ

③　トマス＝アクィナス

④　ドミニコ

8　12 世紀以降のヨーロッパ交易の中継地点の変遷として正しいのは。

①　ブリュージュ → アントワープ → アムステルダム → シャンパーニュ

②　アントワープ → ブリュージュ → シャンパーニュ → アムステルダム

③　シャンパーニュ → ブリュージュ → アントワープ → アムステルダム

④　シャンパーニュ → アントワープ → ブリュージュ → アムステルダム

9　1378 年にイタリアで起こった毛織物職人の反乱として正しい組み合わせは。

①　フィレンツェ ― ゲットーの乱

②　フィレンツェ ― チョンピの乱

③　ヴェネツィア ― ゲットーの乱

④　ヴェネツィア ― チョンピの乱

10　シャンパーニュ地方はフランスのどこにあるか。

①　南西部

②　南東部

③　北西部

④　北東部

第 20 講　テスト①解答

1	③	2	②	3	③	4	③	5	③
6	②	7	①	8	③	9	②	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ザクセン朝】３分した (1)〔　　〕フランク王国のうち東フランク王国は 911 年カロリング家が断絶し選挙王政になった後，919 年に (2)〔　　〕家の (3)〔　　〕が，936 年に (4)〔　　〕が，それぞれ王に即位した。(5)〔　　〕年に (6)〔　　〕の戦いでアジア系の (7)〔　　〕人を撃退，(8)〔　　〕年にオットー１世が教皇 (9)〔　　〕から戴冠され，(10)〔　　〕(～ (11)〔　　〕年）が成立した。中央集権化に教会・修道院を利用する (12)〔　　〕が特長。

神聖ローマ皇帝はローマでローマ教皇に戴冠されるのだから歴代皇帝の関心は (13)〔　　〕にあった。これを (14)〔　　〕といい，衝突が生じれば (15)〔　　〕となった。

【聖職叙任権闘争】(16)〔　　〕を掲げる (17)〔　　〕の中心フランスの (18)〔　　〕修道院（最古の (19)〔　　〕建築）出身の教皇 (20)〔　　〕にたいし，(21)〔　　〕に関連し謝罪した神聖ローマ皇帝が (22)〔　　〕でこの事件を「(23)〔　　〕」((24)〔　　〕年）という。(25)〔　　〕年の (26)〔　　〕協約で，**聖職叙任権は教皇にあり**ということで，この闘争は決着をみた。(教皇 (27)〔　　〕と皇帝 (28)〔　　〕)

【シュタウフェン朝によるイタリア政策】(29)〔　　〕家の (30)〔　　〕は (31)〔　　〕に参加。また (32)〔　　〕遠征を数回実施し，北イタリアの (33)〔　　〕を中心とした (34)〔　　〕同盟と対立した。これがイタリア政策の代表的事例だ。イタリア半島の諸勢力は教皇派 (35)〔　　〕と皇帝派 (36)〔　　〕に二分され激しく対立した。(37)〔　　〕の戯曲『**ロミオとジュリエット**』のモチーフにはこの対立がある。

シュタウフェン家の (38)〔　　〕はイタリア政策を継続。**シチリア島** (39)〔　　〕を拠点とし，(40)〔　　〕大学を創設した。この大学で後に (41)〔　　〕が学ぶ。また，(42)〔　　〕を派遣したが，イスラーム側と妥協（だきょう）し聖地エルサレムを支配したり教皇庁と対立し戦闘までした異端児だった。

解答

（1）カロリング朝　（2）ザクセン　（3）ハインリヒ１世　（4）オットー１世
（5）955　（6）レヒフェルト　（7）マジャール　（8）962　（9）ヨハネス 12 世
（10）神聖ローマ帝国　（11）1806　（12）帝国教会政策　（13）イタリア
（14）イタリア政策　（15）イタリア戦争　（16）聖職売買禁止・聖職者の妻帯（さいたい）禁止
（17）教会刷新運動　（18）クリュニー　（19）ロマネスク　（20）グレゴリウス７世
（21）聖職叙任（じょにん）権闘争　（22）ハインリヒ４世　（23）カノッサの屈辱（くつじょく）　（24）1077
（25）1122　（26）ヴォルムス　（27）カリクストゥス２世　（28）ハインリヒ５世
（29）シュタウフェン　（30）フリードリヒ１世　（31）第３回十字軍　（32）イタリア
（33）ミラノ　（34）ロンバルディア　（35）ゲルフ　（36）ギベリン　（37）シェークスピア
（38）フリードリヒ２世　（39）パレルモ　（40）ナポリ　（41）トマス＝アクィナス
（42）第５回十字軍

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ハプスブルク家とスイスの形成】これらイタリア政策のゆきすぎからドイツ経営がおろそかになり，神聖ローマ皇帝は (43)〔　　〕年～ (44)〔　　〕年まで皇帝不在の「(45)〔　　〕」となる。その後即位したのが，(46)〔　　〕**家**の (47)〔　　〕だ。ハプスブルク（鷹城）はもともと現在のスイスの豪族であり，アルプスの要衝（ようしょう）を抑え交通税を得ていた。これが，(48)〔　　〕の戯曲『(49)〔　　〕』の背景だ。13 世紀の終わり頃に (50)〔　　〕家の支配からウリ・シュヴィッツ・ウンターヴァールテンの３州が独立，(51)〔　　〕年のシュヴァーベン戦争に勝ち **13 州が独立を達成し自治権を獲得**，これらが後の (52)〔　　〕年の**ウェストファリア条約で正式に独立**するスイスの原型となる。スイスは (53)〔　　〕年の (54)〔　　〕で**永世中立国**になり，2002 年には国際連合 190 カ国目の加盟国になった。また，カロリング朝フランク王国のマジャール人に対する**東の辺境オストマルクがオーストリアの起源**である。

【金印勅書】さて，(55)〔　　〕年に皇帝 (56)〔　　〕が出した「(57)〔　　〕」により，(58)〔　　〕・(59)〔　　〕・(60)〔　　〕の３司教と (61)〔　　〕王・(62)〔　　〕伯・(63)〔　　〕伯・(64)〔　　〕辺境伯の４世俗諸侯の７人の選帝侯が皇帝選出を決めることになった。これが 300 余りの (65)〔　　〕分立体制の出発点。諸侯の権限が皇帝よりも上に立つ領邦体制の時代だ。カール４世はドイツ最古の (66)〔　　〕を建てた。その息子の (67)〔　　〕は，(68)〔　　〕年の (69)〔　　〕の戦いで (70)〔　　〕の (71)〔　　〕に敗れた。1414 ～ 1418 年の (72)〔　　〕（現ドイツ）では，カトリックの**教会大分裂**（(73)〔　　〕）が終了。また**聖書を** (74)〔　　〕**語訳**し，(75)〔　　〕を非難したベーメンの宗教改革の先駆で (76)〔　　〕総長の (77)〔　　〕に異端が宣告され火刑となった。彼に異端が宣せられたことにより彼に影響を与えた (78)〔　　〕大学の (79)〔　　〕の墓まであばかれ凌辱された。

【ハプスブルク家の世襲へ】アルブレヒト２世の (80)〔　　〕年からは神聖ローマ皇帝が，**ハプスブルク家の世襲**となる。とくに (81)〔　　〕が (82)〔　　〕家と血縁となることにより，同家は (83)〔　　〕まで領有することになった。

解答

（43）1254　（44）1273　（45）大空位時代（だいくうい）　（46）ハプスブルク　（47）ルドルフ１世
（48）シラー　（49）ヴィルヘルム＝テル物語　（50）ハプスブルク
（51）1499　（52）1648　（53）1815　（54）ウィーン議定書　（55）1356
（56）カール４世　（57）金印勅書　（58）トリール　（59）ケルン　（60）マインツ
（61）ベーメン　（62）ファルツ　（63）ザクセン　（64）ブランデンブルク　（65）領邦（りょうほう）
（66）プラハ大学　（67）ジキスムント　（68）1396　（69）ニコポリス
（70）オスマン帝国　（71）バヤジット１世　（72）コンスタンツ公会議　（73）大シスマ
（74）チェコ　（75）贖宥状（しょくゆうじょう）　（76）プラハ大学　（77）フス　（78）オックスフォード
（79）ウィクリフ　（80）1438　（81）マクシミリアン１世　（82）ブルゴーニュ
（83）ネーデルラント

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 20 講　テスト②

1　神聖ローマ帝国建国の年号は。

① 910

② 911

③ 955

④ 962

2 「カノッサの屈辱」の世紀。

① 10

② 11

③ 12

④ 13

3 「カノッサの屈辱」のときの神聖ローマ皇帝。

① オットー１世

② ハインリヒ４世

③ カール４世

④ フリードリヒ１世

4 「カノッサの屈辱」のときのローマ教皇は。

① レオ３世

② レオ 10 世

③ グレゴリウス１世

④ グレゴリウス７世

5　聖職叙任権闘争に決着がついた世紀は。

① 11

② 12

③ 13

④ 14

6　ロンバルディア同盟の中心都市は。

① ミラノ

② トリノ

③ パドヴァ

④ マントヴァ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　神聖ローマ帝国が大空位時代になった世紀。

①　12

②　13

③　14

④　15

8　スイスの原初３州が独立した時期は何世紀の終わりか。

①　13

②　14

③　15

④　16

9　戯曲『ヴィルヘルム＝テル』の作者は。

①　ゲーテ

②　ハイネ

③　ニーチェ

④　シラー

10　金印勅書が発令された世紀は。

①　14

②　15

③　16

④　17

11　ハプスブルク家による世襲の皇帝になった世紀は。

①　14

②　15

③　16

④　17

12　神聖ローマ皇帝フリードリヒ１世をロンバルディア同盟が破った 1176 年の戦いは。

①　レッヒフェルトの戦

②　レニャーノの戦

③　カッペルの戦

④　ブーヴィーヌの戦

第 20 講　テスト②解答

1 ④	2 ②	3 ②	4 ④	5 ②	6 ①
7 ②	8 ①	9 ④	10 ①	11 ②	12 ②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。